

2026年5月18日



コマツ産機株式会社

代表取締役社長 長利 啓正

## DX 戦略の進捗状況について

コマツ産機では自社を取り巻く外部環境や事業課題への対応として、DX 戦略に基づき ICT の活用を積極的に推進してまいります。つきましては現時点での推進状況を以下のとおり報告いたします。また、DX 戦略の進捗状況については、設定した KPI に沿って代表取締役社長が定期的に発信する形としております。

記

### 1. 大型サーボプレス向け予知保全システムの展開状況

予知保全システムについて、2025 年度までの契約実績は 57 ラインとなりました。今後は対象部位および適用機種種の拡大を進め、2028 年度までの目標として累計 84 ラインを目指します。

予知保全の紹介は[こちら \(リンク\)](#)、メディアでの紹介記事は[こちら \(リンク\)](#)をご覧ください。

### 2. Komtrax（機械の遠隔管理稼働システム）を活用したサービス提供状況

Komtrax 有償サブスクリプションは、2025 年度までに有効契約数が 1,161 件まで拡大し、新たなビジネス基盤として着実に成長を遂げております。

今後は、Komtrax サイトのフルリニューアルや生成 AI を活用した新コンテンツの積極的な展開により提供価値のさらなる高度化を図るとともに、収益モデルの見直しおよび PR 活動の強化を通じて需要創出を加速し、2028 年度までに累計 2,000 件規模への拡大を目指してまいります。

サービスの詳細は[こちら \(リンク\)](#)をご確認ください。

### **3. DX 活用による社内業務改善の進捗**

CRM は営業部門からサービス・製造部門へと展開を進め、適用範囲を継続的に拡大した結果、営業・サービス領域において約 70～80%の業務のシステム化を実現しました。今後は 2028 年度までに業務システム化率を 90%まで引き上げ、業務プロセスのさらなる高度化を推進してまいります。これにより、部門横断業務の効率化・高度化と意思決定スピードの向上を実現するとともに、業務実行基盤を顧客サービス基盤へと発展させてまいります。

また、AI を中核としたデータ活用の強化により、分析・予測から業務改善、施策立案までを一気通貫で実行する体制の構築を推進してまいります。

### **4. 人材育成計画および実績**

DX 人材は 2025 年度実績 12 名から 2028 年度 16 名へ増員を計画しています。新卒・中途採用および教育を通じ、体制強化を進めてまいります。

以上